

『備品貸出しできます』

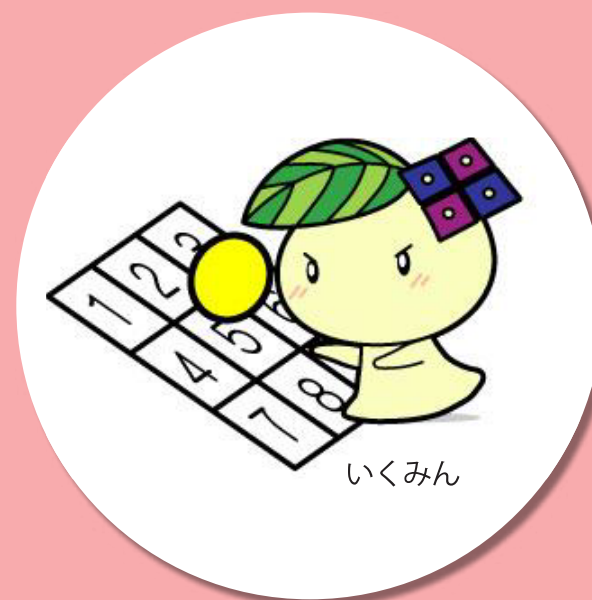


スポーツ・レクリエーション活動を通じて、地域コミュニティー事業を開催される各種団体にボールやコートを貸出いたします。(貸出し備品の詳細は下記に記載したホームページをご覧ください。)

また、出張講習会も行っておりますので、気軽にお問い合わせ下さい。

**TEL.06-6716-3020**

# スリーアイズ 公式ルールブック



## ■お問い合わせ

大阪市スポーツ推進委員生野区協議会(生野区民センター内)

TEL.06-6716-3020 FAX.06-6716-1797

★詳しくはホームページへ [大阪市スポーツ推進委員生野区協議会](#) [検索](#)

大阪市スポーツ推進委員生野区協議会



スリーアイズは平成9年に開催された「なみはや国体」「ふれ愛ビッグ大阪」を記念して、「広報いくの」でアイデアを募集し、生野区体育指導委員会協議会（現：大阪市スポーツ推進委員生野区協議会）が考案した、生野区発祥のニュースポーツです。

10個のボールとわずかなスペースがあれば

1. いつでも、どこでも
  2. お年寄りから幼児まで、3世代4世代と一緒に
  3. 車いすでも参加できる
- バリアフリーのスポーツです。

## 目次

- P 2~8 …公式ルール
- P 9 …コート図
- P 10 …得点パターン図例
- P 11~13 …審判の手順

# 公式ルール

## 1 競技場所

- ① 屋外 平坦なグラウンド
- ② 屋内 体育館・ホールなど
- ③ コート図 P9 参照

## 2 使用用具

- ① スリーアイズ専用コート（キャンバス製グリーン色）



- ② スリーアイズ専用ゴム製ボール（白色・黄色各5個）
- ③ 投球順札、1~5を2セット



### 3 競技種目

シングルス、ダブルス、チーム戦

(ただしチーム戦は1チーム5名、登録は8名までとする)

### 4 競技方法

- ① チームリーダーはメンバー表を審判に提出する。
- ② トスにより先攻・後攻及びボールの色を決め、以後は交互に投球エリアより、ボールを前方の9個の柵目に停止させる。  
その際、投球方法は自由とし身体のどの部分を使ってもよい。



▲あいさつ



▲トス(ジャンケン)



▲プレイボール(試合開始)



▲副審の投球コール



▲投球



▲投球されたボールの判定

- ③ 1個の柵目に両チームのボールが停止した場合はその柵目を共用できる。
- ④ 既に柵目に停止しているボールに、以降のボールが接触して移動したり、柵目から弾き出されても、あるがままとする。
- ⑤ 柵目の境上(オンライン)のボールについては、そのチームが有利になる柵目に入ったものとする。
- ⑥ ボールが柵目内に停止しなかった場合は、アウトボールとし、セット終了まで放置する。セット途中で、投球されたボールの接触により柵目に入った場合は、インボールになる。
- ⑦ ダブルス・チーム戦は同一選手の連続投球は認めない。
- ⑧ 投球は、副審のコール後に、速やかに投球する。(8秒以内)
- ⑨ 作戦タイムは、1セットに1回ずつ取ることができる。(15秒以内)  
そのときは、チームリーダーが副審に要求する。
- ⑩ 各セット前にメンバーチェンジが出来る。



▲得点の確認



▲ボールの回収

## 5 得点と勝敗

- ① 両チームが5個ずつのボールを投げ終えて、ボールが入っている枠目が一列に並べば、得点となる。  
(獲得点数は、得点パターン図 P10 参照)
- ② 1ゲームは、3セット又は5セットマッチとし、得点の多いチームの勝利とする。但し、2セット又は4セット終了時に6点以上差がある場合は、コールドゲームとする。
- ③ トーナメント戦で試合終了時に、同点の場合は、両チーム同数の選手によるフリースローをおこない、5番の枠目に多く入ったチームの勝利とする。なお、投球されたボールは、1投毎に取り除く。
- ④ ③で勝敗が決しない場合は、Vスローをおこない、5番の枠目に先に入れたチームの勝利とする。



▲得点の確認



▲ボールの回収



▲得点発表



▲試合後の握手と礼

## 6 審判

- ① 審判員は、主審・副審の2名とする。



- ② 主審は、投球されたボールのイン・アウト（オンライン）及び得点の判定をおこなう。
- ③ 副審は、投球の許可をおこない、また、スコアシートに得点を記入する。
- ④ 審判の位置は、主審は枠目付近に立つ。副審は投球ライン脇に立つ。
- ⑤ 主審が、イン・アウト（オンライン）の判定をする場合は、
  - i) インの時  
片手で対象となるボールを指し、「○○ボール○番にイン」とコールする。
  - ii) オンラインの時  
片手で対象となるボールを指し、「○○ボール○番○番にオンライン」とコールする
  - iii) アウトの時  
片手を真直ぐ上へ伸ばして、「○○ボール アウトボール」とコールする。
  - iv) 投球されたボールの接触により、停止しているボールが移動した場合は、先ず、投球されたボールの、イン・アウトを判定する。  
次に移動したボールの判定をする。
    - a) イン⇒イン 「○番の○○ボール○番に移動」
    - c) アウト⇒イン 「アウトボールの○○ボール○番にイン」

## 7 反則

i) 投球者が投球時に、投球ラインを踏み越した場合。



ii) 主審の各セット終了宣言前の投球ラインを越えての進入。

iii) 投球エリア内へは、投球者以外の選手は入ってはならない。



iv) 投球オーダーの間違い

v) 吹笛前に投球してはならない。

vi) ゲームでの遅滞行為（副審の吹笛後、8秒以内に投球完了しない時）

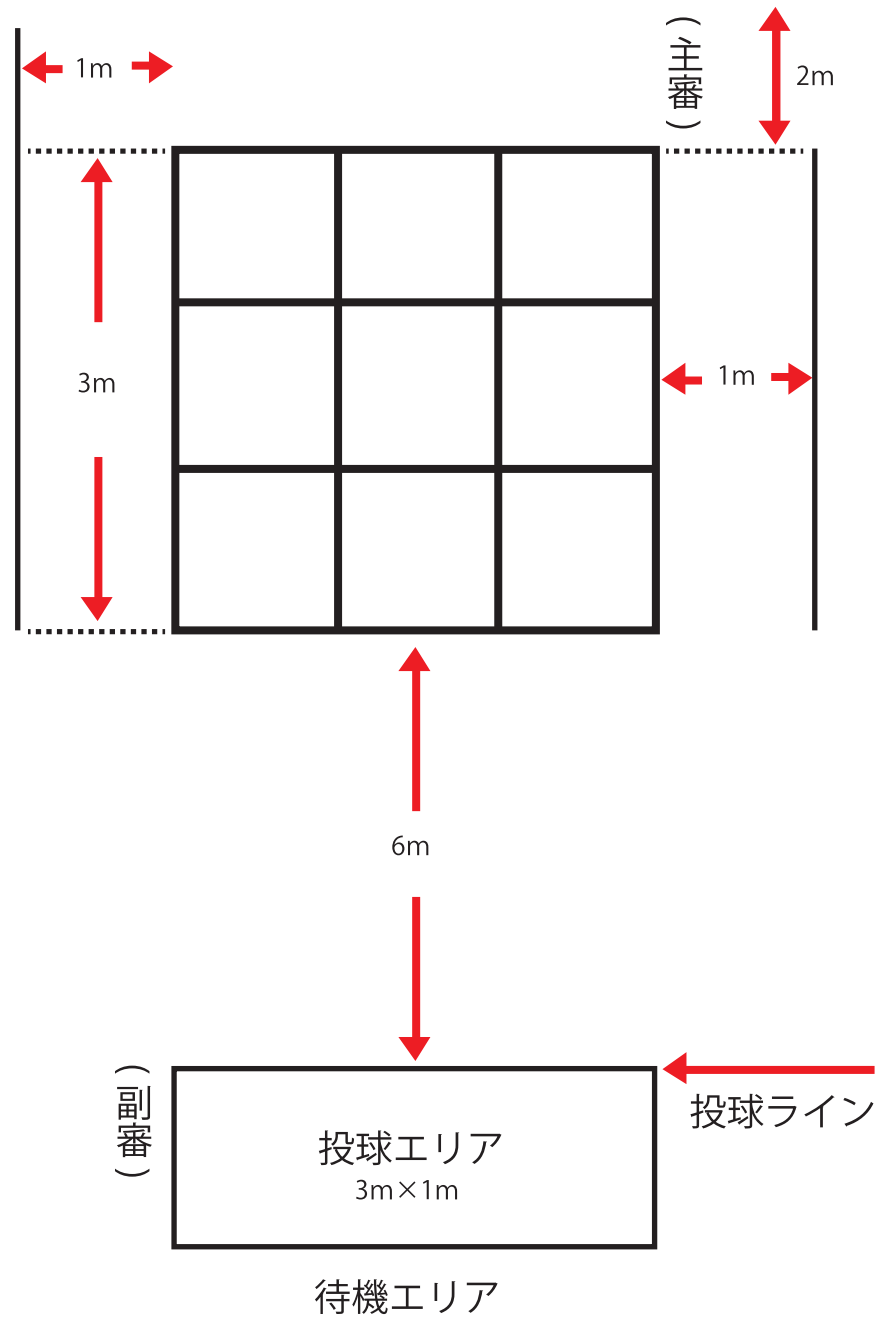


vii) 投球者以外のボールの保持は認めない。

viii) i ~ vの反則行為があった場合は、主審・副審どちらかが、短く2回吹笛し、反則内容を告げ、無効球とする。但し、最初遅滞行為については両チームに対して注意を与える。2回目以降は、無効球とする。

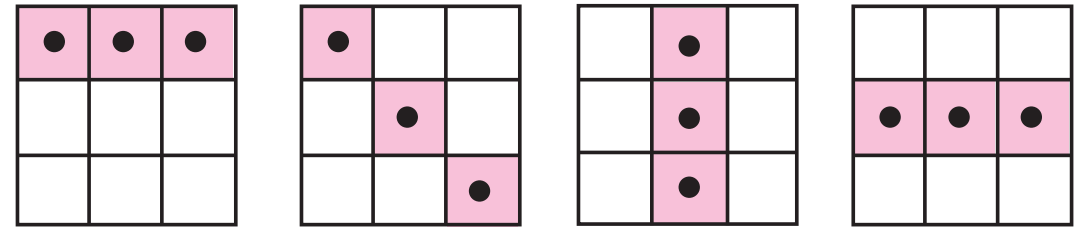


# コート図

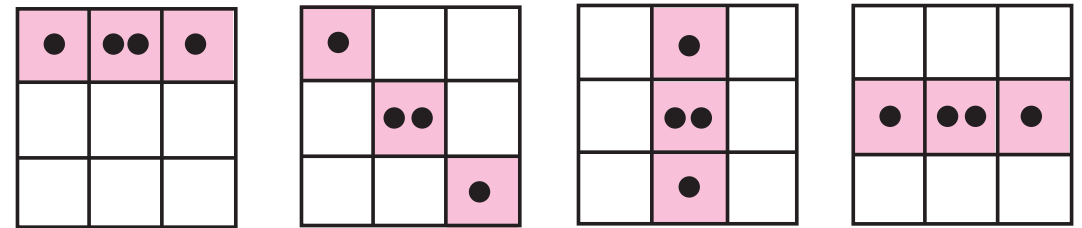


# 得点パターン図例

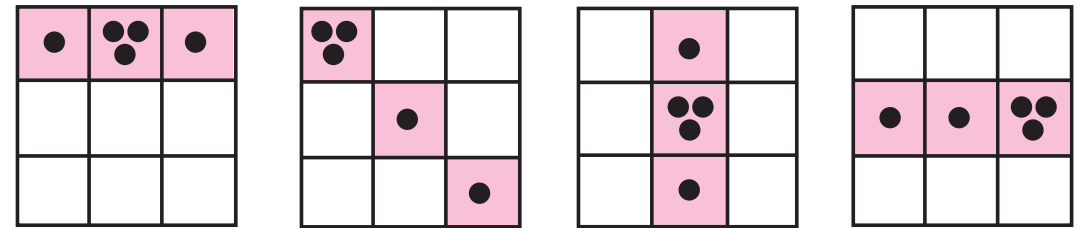
1点 (1列完成)



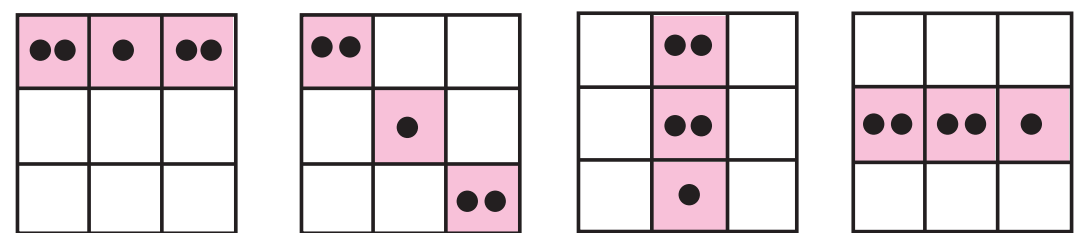
2点 (1列完成 但し、1柵に2個のボールが入った場合)



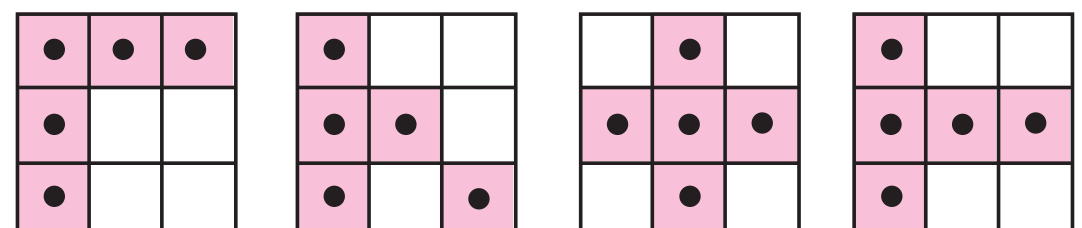
3点 (1列完成 但し、1柵に3個のボールが入った場合)



4点 (1列完成 但し、2柵に2個のボールが入った場合)



5点 (パーフェクト) <2列完成した場合>



# 審判の手順

## 1 挨拶・トス

- ① 主審・副審は、投球ラインに平行に並び、主審が両チームに縦1列に整列させる。
- ② 主審は整列後、「○○チーム対××チームの対戦を始めます」と宣言する。
- ③ 両チームの選手に、握手をさせる。
- ④ 両チームリーダーにトスをさせ、先ず勝者に先攻・後攻、またはボールの色を決めさせる。
- ⑤ トスの敗者には、勝者が選択し残した先攻・後攻、またはボールの色を選択させる。
- ⑥ 副審は、④、⑤の結果をスコアシートに記入する。
- ⑦ 主審・副審は、所定の位置につく。

## 2 ゲーム開始

- ① 主審が、吹笛（長笛ピー）し「プレーボール」と、宣言する。
- ② 副審が、先攻チームに向け、「第1セット開始△△（白又は黄色）1番」と発声してから、吹笛（短笛ピッ）し、投球をさせる。
- ③ 主審は、投球されたボールが停止した後に、速やかにイン・アウト（オンライン）の判定をしてコールをおこなう。（公式ルール6-⑤を参照）
- ④ 次に後攻チームに投球をさせ、以降、交互に両チームの5番まで投球させる。
- ⑤ 副審は、主審のセット最終ボールのイン・アウトをコールした後、セット終了を告げる吹笛（短笛+長笛ピッピー）をする。

- ⑥ 主審は、副審の吹笛後、速やかに「（白又は黄色）何点、（黄色又は白）何点」と、得点をコールした後、吹笛（長笛ピー）し、「第○セット終了」と宣言する。
- ⑦ 副審は、スコアシートに、得点結果を記入する。
- ⑧ 第2セットは、先攻・後攻を入れ換えて、②～⑦の手順でゲームを進行する。
- ⑨ 第3セットは、第1セットと同じく先攻・後攻で、ゲームを進行する。以下、第4セット・第5セットも準ずる。
- ⑩ 主審は、最終セットの最終投球後に、得点コールと吹笛（長笛ピー）を終えた後は、「ゲームセット」と宣言する。（同点の場合は、第3セット又は第5セット終了とコールする。）
- ⑪ 反則行為があった場合は、主審・副審どちらかが、短く2回吹笛（短笛+短笛ピッピー）し、反則内容を告げ、無効球とする。
- ⑫ 反則の中でも、遅滞行為（副審の吹笛後、8秒以内に投球完了しない時）については、最初の遅滞行為については両チームに対して注意を与える。2回目以降は、無効球とする。
- ⑬ 作戦タイムを要求された時に副審は、手をT型にして、吹笛（長笛ピー）をして主審にアピールする。

## 3 フリースロー及びVスロー

- ① 両チームリーダーにトスをさせ、勝者に先攻・後攻を選択させる。
- ② 主審・副審は所定の位置につく。
- ③ 副審は、先攻チームに「フリースロー開始（白又は黄色）1番」と発声してから、吹笛（短笛ピッ）し、投球をさせる。
- ④ 主審は、投球されたボールが停止した後に、イン・アウトの判定をしてコールをおこなう。なお、投球されたボールは、1球毎に取り除く。（インボールはエンドに、アウトボールはサイドにボールを置く。）
- ⑤ 副審は次に、後攻チームへ投球をさせ、以降、交互に投球させる。

- ⑥ 副審は、主審が最終ボールのイン・アウトのコールの後、フリースロー終了を告げる吹笛（短笛 + 長笛ピッピー）をする。
- ⑦ 主審は、副審の吹笛後、速やかに「白○球・黄色◎球」とコールした後、吹笛（長笛ピ——）し、「ゲームセット」と宣言する。但し同点の場合は、「フリースロー終了」と、宣言する。
- ⑧ 勝敗が決した場合は、副審がスコアシートに結果を記入する。但し、同点の場合は、Vスローを行う。
- ⑨ Vスローを行う時は、①～②の後、副審が、先攻チームに「Vスロー開始（白又は黄色）1番」と発声してから、吹笛（短笛ピッ）し、投球を促す。
- ⑩ 主審は、投球されたボールが停止した後に、イン・アウトの判定をしてコールを行う。なお、投球されたボールは、1球毎に取り除く。
- ⑪ 副審は次に、後攻チームへ投球をさせ、以降、交互に投球させる。
- ⑫ Vスローで勝敗が決した場合、主審は速やかに吹笛（長笛ピ——）し、「ゲームセット」と宣言する。但し、勝敗が決しない場合、副審が速やかに「ボール回収」とコールする。
- ⑬ 副審は、スコアシートに、結果を記入する。
- ⑭ Vスローで勝敗が決しない場合、2回目以降は、先攻・後攻を交互に入れ替える。

## 4 ゲーム終了

- ① 主審・副審は、投球ラインに平行に並び、主審が両チームに縦1列に整列させる。
- ② 副審は、スコアシートを確認し、主審に結果を知らせる。
- ③ 主審は、「◎点对●点で、○○チームの勝利です。」とコールする。  
（主審は、「フリースロー又はVスローの結果、○○チームの勝利です。」とコールする。）
- ④ 主審は、両チームの選手に握手をさせる。
- ⑤ ④の後、両チームリーダー及び審判員は、スコアシートにサインをして、全てが終了する。

## Memo

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---